

『フィナンシャル・レビュー』既掲載論文一覧

創刊号（昭和61年4月発行）

金融自由化の視点（館龍一郎）
経常収支問題について（植田和男・亀水晋）
資本コストの国際比較（竹中平蔵・高林喜久生・塚越保佑・桑名康夫・吉田康）
——投資インセンティブに関するファクト・ファインディング——
企業年金資産拡大と金融・資産市場（植田和男・志水雅一・根岸宏和）
財政運営の安定性（吉田和男）

第2号（昭和61年8月発行）

円の国際化（行天豊雄）
——その日米関係に与える影響——
地方交付税の機能とその評価Part（貝塚啓明・本間正明・高林喜久生・長峰純一・福間潔）
補助金と交付税に関する理論的分析（黒田東彦）
アメリカ保護貿易主義の政治経済学（竹中平蔵・牟田口聖太郎・石尾勝）
——州別データによる計量分析——
配当と株価：シラー・テストの日本への応用（植田和男・鈴木勝・田村達朗）
最近の日本における貯蓄・消費パターンについて（小川一夫・竹中平蔵・桑田康夫）
——新消費・所得データ系列による実証分析——
財政赤字の測定基準（塚越保佑）
——最近における諸議論の整理と展望——

第3号（昭和61年12月発行）

金融の国際化について（貝塚啓明）
最近におけるわが国の資本流出について（植田和男・藤井真理子）
財政赤字と家計消費（本間正明・跡田真澄・高林喜久生・福間潔・長峰純一・植草一秀）
——コーホート・データによる「中立命題」の検証——
日米政策協調と環太平洋経済（竹中平蔵・千田亮吉・濱野豊・吉田康）
——サックス型世界モデルによるシミュレーション分析——
消費・貯蓄行動の日米比較（小川一夫・竹中平蔵・桑名康夫）

第4号（昭和62年3月発行）

間接税改革の視点（石弘光）
地方交付税の機能とその評価Part（貝塚啓明・本間正明・高林喜久生・長峰純一・福間潔）

日本における家計貯蓄の決定要因とマル優廃止の影響について（チャールズ・ユウジ・ホリオカ）

——都道府県所在都市別データによる分析を踏まえて——

経済政策協調の可能性について（黒田東彦）

19世紀イギリスの資本輸出について（富田俊基・篠原照明・永戸一彦・山本美樹子）

設備投資行動の日米比較（竹中平蔵・桑名康夫・平岡三明）

——限界 q 理論に基づく投資関数・調整費用関数の推定——

第5号（昭和62年6月発行）

内外不均衡と内需拡大（香西泰）

公的年金の将来と日本経済の対外パフォーマンス（野口悠紀雄）

均衡円・ドルレートについて（吉川洋）

最適政策協調の計量分析（竹中平蔵・千田亮吉・濱野豊・宮垣淳一）

——サックス型世界モデルによる外挿シミュレーション——

日本の住宅投資と対外不均衡（竹中平蔵・平岡三明・浅田利春）

——持家・貸家別ストック系列とレンタル価格による分析——

第6号（昭和62年10月発行）

日本経済とアメリカ経済（飯田経夫）

——「内需拡大」と「レーガノミックス」——

国際的商業銀行貸付と累積債務問題（河合正弘）

公的年金と世代間所得移転（植田和男・岩井睦男・橋本元秀）

住宅の資本コストと持家住宅需要（本間正明・跡田直澄・福間潔・浅田利春）

ポスト高度成長期の経済構造Part（佐和隆光・高林喜久夫・植草一秀・平岡三明・佐野尚史）

——経済のソフト化による構造変化——

第7号（昭和63年3月発行）

環太平洋時代における日米の役割（行天豊雄）

——プリンストン大学との共同コンファレンス（1987年10月27, 28日）における基調講演——

住宅政策と住宅需要（本間正明・跡田直澄・福間潔・浅田利春）

ポスト高度成長期の経済構造Part（佐和隆光・高林喜久生・二木高志・佐野尚史・長尾知幸）

——経済のソフト化による構造変化——

高齢化社会の公的年金の財政方式（本間正明・跡田直澄・大竹文雄）

——ライフサイクル成長モデルによるシミュレーション分析——

第7回国際シンポジウム（大蔵省・NBER共催）

——日米における経済構造の変化をめぐって——

第8号（昭和63年9月発行）

情報と情報圏（公文俊平）

設備投資理論の展望（本間正明・常木淳・岩本康志・佐野尚史）

日米製造業の競争力比較（リチャード・C・マーストン）

——第7回NBER－大蔵省国際シンポジウム発表論文——

プリンストン大学との共同コンファレンス

——環太平洋時代における日・米の役割——

第9号（平成元年3月発行）

日米関係とソ連（佐藤誠三郎）

わが国海外直接投資の計量分析（竹中平蔵・千田亮吉・渡邊健・平岡博之）

日米における実質為替レート、雇用及び製造業部門の産出量（ウィリアム・H・ブランソン）

貿易構造と国際収支——日本の場合（香西泰・高橋克秀）

日本経済の構造調整とマクロ経済バランス：政策協調の可能性（森口親司）

国際政策協調と為替レート安定化（ロバート・C・トレーバー）

債務国としてのアメリカ（ロバート・C・ギルピン）

日本の安全保障と日米関係（佐藤誠三郎）

東アジアに蔚ける最近の国際政治動向（田中明彦）

米国の政治的変遷と太平洋経済圏（ケント・E・カルダー）

調査資料：新SNAと制度会計（本間正明・斉藤慎・跡田直澄・高林喜久夫・橋本元秀・二木高志・長尾知幸・楠本喜己・松田正弘・古河久人・榊永慎一郎）

第10号（平成元年4月発行）

人口高齢化，財政政策，対外収支（野口悠紀雄）

日・米・独の「適正」実質実効為替レート（河合正弘・高橋保守・山岸正明・松田啓司・鈴木勝・古金義洋）

設備投資の実証分析（本間正明・岩本康志・浅田利春・砂川和彦・佐野尚史）

世代別の公的負担（本間正明・橋本恭之・林宏昭・跡田直澄・大竹文雄）

サービス貿易の現状とその自由化について（伊藤元重）

財政・金融政策（中尾睦）

<ノート> 財政支出乗数に関するサーベイ（望月徹・松田啓司・佐野尚史）

第11号（平成元年5月発行）

第8回国際シンポジウム・クロージング・リマークス（館龍一郎）

日本経済の構造変化と設備投資（高橋元）

国際経済協調の政治経済学（浜田宏一）

アメリカの財政金融政策の推移（アラン・S・グラインダー）

日本の財政金融政策の政策目標と制御可能性：1968～1986（浅子和美・加納悟）

金融政策の中間目標, 参照指標及び政策手段 (ベネット・T・マッカラム)

日本におけるマネーサプライターゲット〔抄訳〕 (伊藤隆敏)

第12号 (平成元年 6 月発行)

日本人の対外国人態度 (岩男寿美子)

わが国証券業における規模の経済性について (村山純・渡邊健)

米国産業の国際競争力と累積経常赤字について (松本和幸, 二木高志・長尾知幸・白井喜久・
松田正弘・榊永慎一郎)

——業種別にみた製造業の分析を中心に——

均衡 円・ドルレート再論 (吉川洋・山岸正明・松田啓司・鈴木勝・古金義洋)

財政政策の国際協調 (吉田和男)